

議 題 3

平成 28 年 8 月 29 日 (修正)

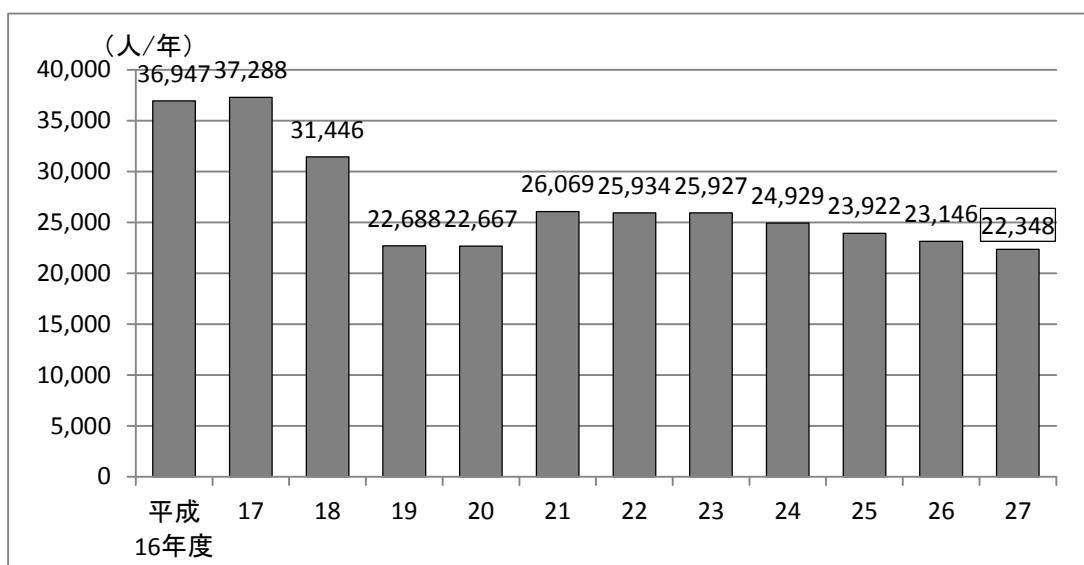
平成 27 年度・スマイルバスの利用実績

1. スマイルバスの利用状況

(1) 年間利用者数の推移

- ・図-1 には、スマイルバスの前身である福祉バスが運行開始された平成 16 年度以降について、福祉バス・スマイルバスの利用者数の推移を示している。
- ・平成 21 年 6 月に福祉バスとスクールバスを一体的に運行することによりスマイルバスに路線再編したが、再編以降、平成 21 年度～23 年度にかけてスマイルバスの利用者は 26,000 人前後で推移してきた。
- ・平成 24 年度から利用者数が 1 年に 800～1,000 人ずつ減少し、平成 27 年度の利用者数は 22,348 人 (前年比 798 人・3.4%減) となった。
- ・なお、平成 27 年 10 月から B コースが川上村の湯盛温泉杉の湯まで乗り入れるとともに、吉野病院～湯盛温泉杉の湯間で川上村コミュニティバスと連携を図りながら運行している。また、これまで運休していた第 2・4 土曜日の全コース運行、B コース上市駅～南国栖間における日曜・祝日運行などの改正を行った。

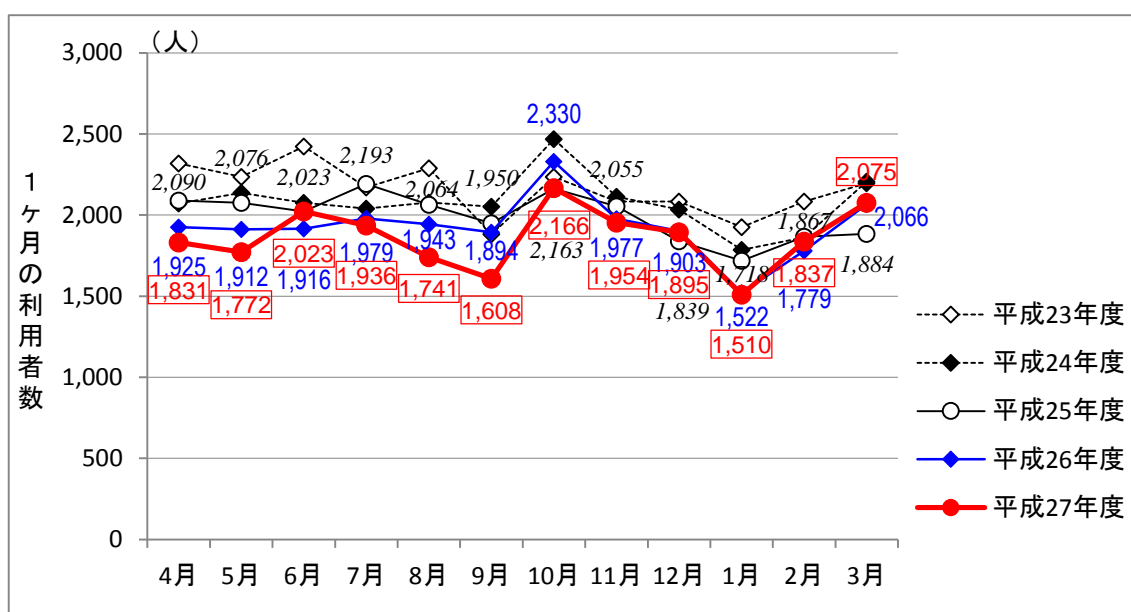
図-1 福祉バス・コミュニティバス・スマイルバスの年間乗車人数の推移



(2) 月別利用者数の推移

- ・平成27年度の月間利用者数の推移（図-2の赤色の折れ線グラフ）をみると、1ヶ月当たり概ね1,700～2,100人程度で推移した。
- ・平成27年度で最も利用が多かったのは10月（2,166人）であり、1月（1,510人）が最も少なかった。
- ・前年度と比較すると、4～9月は前年を下回る月が多かったが、10月以降は前年とほぼ同じ程度の利用者数で推移した。

図-2 スマイルバスの月間乗車人数の推移（平成23～27年度）



(3) 路線別の利用状況

- ・表-1には、平成26年度の路線別の利用者数と1日平均利用者数を平日と土曜日、日曜祝日に区分して示している。
- ・平日の利用者は、4～9月は約85人、10～3月は約86人であった。
- ・土曜日は、4～9月が約32人、10～3月は約31人であった。
- ・路線別に見ると、平日・Bコースの1日平均乗車人数が4～9月は30人程度であったが10～3月は33人余りとなっており、川上村への延伸の効果が表れていると推察される。
- ・なお、日曜祝日のBコース（上市駅～南国栖）の利用者は1日平均10人程度であった。
- ・平成26年度と比較すると、平日の利用は減少、土曜日の利用は4～9月は前年度を上回り、10～3月はほぼ同数（若干の減少）となっている。

表-1 平日・土曜日別の利用者数と1日平均利用者数（平成27年度）

(単位:人)

[4～9月]

		平日		土曜		平日・土曜計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
年間利用者数	Aコース	2,773	3,462	78	87	2,851	3,549
	Bコース	3,770	3,493	174	174	3,944	3,667
	Cコース	958	958	20	20	978	978
	Dコース	1,275	1,278	113	115	1,388	1,393
	上市龍門	1,167	1,144	35	35	1,202	1,179
	中竜門	519	81	29	20	548	101
	合計	10,462	10,416	449	451	10,911	10,867
運行日数		123	123	14	14	137	137
1日平均乗車人数	Aコース	22.5	28.1	5.6	6.2	20.8	25.9
	Bコース	30.7	28.4	12.4	12.4	28.8	26.8
	Cコース	7.8	7.8	1.4	1.4	7.1	7.1
	Dコース	10.4	10.4	8.1	8.2	10.1	10.2
	上市龍門	9.5	9.3	2.5	2.5	8.8	8.6
	中竜門	4.2	0.7	2.1	1.4	4.0	0.7
	合計	85.1	84.7	32.1	32.2	79.6	79.3

[10～3月]

(単位:人)

		平日		土曜		日曜・祝日		合計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
年間乗車人数	Aコース	2,338	2,969	160	123			2,498	3,092
	Bコース	3,999	3,828	395	395	332	336	4,726	4,559
	Cコース	1,161	1,161	26	26			1,187	1,187
	Dコース	1,208	1,209	66	66			1,274	1,275
	上市龍門	1,073	1,076	61	61			1,134	1,137
	中竜門	553	70	65	102			618	172
	合計	10,332	10,313	773	773	332	336	11,437	11,422
運行日数		120	120	25	25	32	32		
1日平均乗車人数	Aコース	19.5	24.7	6.4	4.9			17.2	21.3
	Bコース	33.3	31.9	15.8	15.8	10.4	10.5	26.7	25.8
	Cコース	9.7	9.7	1.0	1.0			8.2	8.2
	Dコース	10.1	10.1	2.6	2.6			8.8	8.8
	上市龍門	8.9	9.0	2.4	2.4			7.8	7.8
	中竜門	4.6	0.6	2.6	4.1			4.3	1.2
	合計	86.1	85.9	30.9	30.9	10.4	10.5		

表-2 参考・前年度（平成26年度）1年間の状況

(単位:人)

		平日		土曜		平日・土曜計	
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
年間乗車人数	Aコース	6,015	7,391	126	142	6,141	7,533
	Bコース	8,229	7,757	295	291	8,524	8,048
	Cコース	1,967	1,967	124	124	2,091	2,091
	Dコース	2,808	2,809	163	165	2,971	2,974
	上市龍門	2,257	2,258	34	34	2,291	2,292
	中竜門	1,091	196	37	20	1,128	216
	合計	22,367	22,378	779	776	23,146	23,154
運行日数		244	244	25	25	269	269
1日平均乗車人数	Aコース	24.7	30.3	5.0	5.7	22.8	28.0
	Bコース	33.7	31.8	11.8	11.6	31.7	29.9
	Cコース	8.1	8.1	5.0	5.0	7.8	7.8
	Dコース	11.5	11.5	6.5	6.6	11.0	11.1
	上市龍門	9.3	9.3	1.4	1.4	8.5	8.5
	中竜門	4.5	0.8	1.5	0.8	4.2	0.8
	合計	91.7	91.7	31.2	31.0	86.0	86.1

注：表-1・表-2ともに小学生・中学生の通学利用を除く。

Aコース：吉野病院～立野口～吉北小～香束～三茶屋

Bコース：[9月まで] 吉野病院～立野口～宮滝～南国栖～下色生～三茶屋
 [10月から] 吉野病院～立野口～宮滝～南国栖～湯盛温泉杉の湯
 (一部の便は、南国栖～下色生～三茶屋)

Cコース：吉野病院～奥六田～上左曾～吉野病院～藤田～喜佐谷～樫尾～間ノ原～国栖東
 (セダン型タクシー車両によるデマンド運行)

Dコース：吉野病院～吉野山～上千本口

上市龍門：[上市巡回線] 吉野病院～上市駅～(中道経由)～中道立野口

[龍門巡回線] 中道立野口～吉北小～西谷半次河原～下千股～上市駅～吉野病院

中竜門：[中竜門巡回線] 吉北小～別所～三茶屋～入野～殿川

2. 利用状況の評価

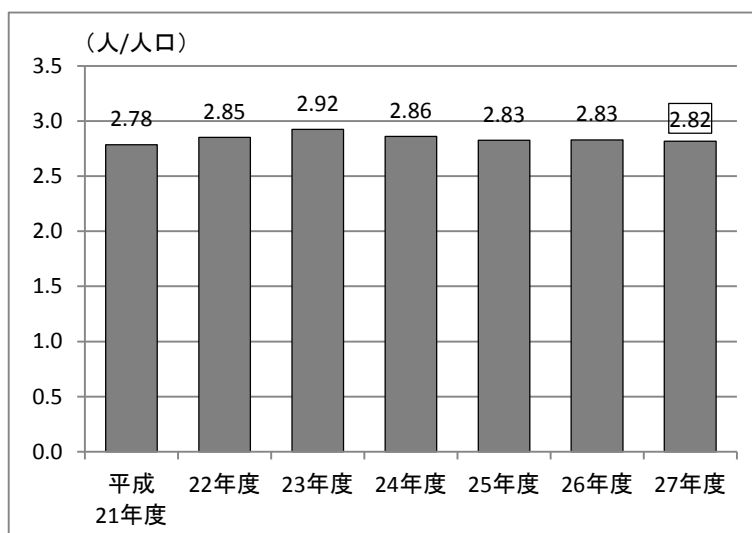
- ・吉野町では、スマイルバスの運行に当たって、人口1人当たりの利用者数を維持することを利用状況の評価指標としている。
- ・表-3は吉野町の人口とスマイルバスの利用者数の経年的な推移を示したものである。
- ・本資料の冒頭に記したように、スマイルバスの利用者はここ数年減少傾向にあるが、吉野町の人口も平成21年から27年にかけて9,367人から7,933人に1,434人（15.3%）減少している。
- ・このような背景のもとで、人口1人当たりのスマイルバス利用者数は、概ね2.8～2.9で推移している。
- ・平成23年度の2.92をピークに若干の減少傾向にあるが、平成27年度は2.82となり、ほぼ25～26年度並みであった。
- ・このように、人口当たりの利用「率」はほぼ一定の水準で推移しており、スマイルバスを必要とする町民に定常的に利用されていると解釈できる。

表-3 吉野町の人口とスマイルバス利用者数（平成21～27年度）

(単位:人)

項目	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
人口(住民基本台帳・10月)	9,367	9,098	8,866	8,715	8,466	8,187	7,933
スマイルバス年間利用者数	26,069	25,934	25,927	24,929	23,922	23,146	22,348
人口1人当たり利用者数	2.78	2.85	2.92	2.86	2.83	2.83	2.82

図-3 人口1人当たりスマイルバス利用者数（平成21～27年度）



3. 川上村との相互乗り入れについて

(1) スマイルバス・やまぶきバス相互乗り入れの概要

公共交通を必要とする住民の日常生活における公共交通手段を、より便利に、より効率的に提供できることを目指し、平成27年10月より、それまで吉野町と川上村が独自に運行していたスマイルバスと川上村コミュニティバス「やまぶきバス」の相互乗り入れを行った。

その概要は次のとおりである。

① 路線・バス停の統一

- ・吉野病院～上市駅～南国栖～湯盛温泉杉の湯間の運行区間、バス停を統一した。

[スマイルバス] 南国栖～湯盛温泉杉の湯間を延伸、一部の便は宮滝～西河を直行。

[やまぶきバス] 上市駅～吉野病院間を延伸、スマイルバスのバス停全てに停車。

(従来は、吉野町内では数か所のバス停のみ停車)

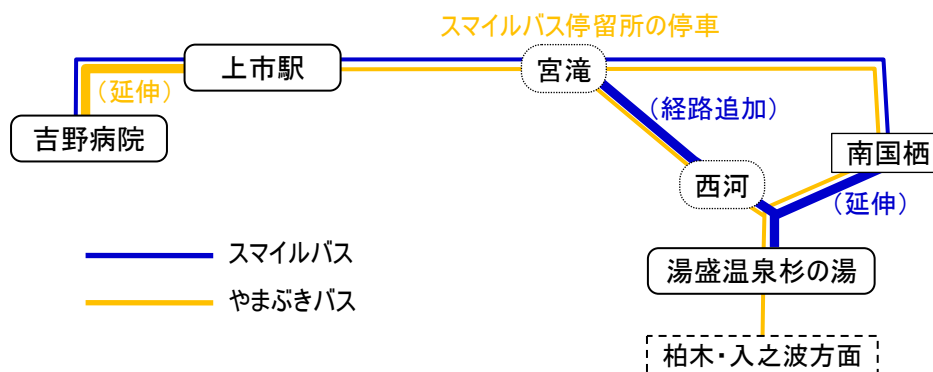
② 運賃および支払方法の共通化

- ・やまぶきバスの運賃の改定 (300円→200円)
- ・共通回数券の発行
- ・やまぶきバススタンプ、スマイルバス・やまぶきバス定期券の通用範囲の拡大
(吉野病院～湯盛温泉杉の湯間に限り、どちらのバスにも通用)

③ ダイヤの調整

- ・両町村のコミュニティバスにより、両町村の住民の通勤・通学、買い物、通院が不自由なくできるよう配慮しながら、それぞれのダイヤを設定。
- ・廃止となる奈良交通路線バスを代替する便の設定。

図-4 路線図



(2) 利用状況

① 吉野病院～湯盛温泉杉の湯間の利用者数

- ・表-4 はスマイルバスBコースおよびやまぶきバスの平日の利用者数を示すものである。相互乗り入れ開始から半年間の利用状況を前年同期と比較している。（なお、土曜日・日曜日は運行回数が昨年と異なるなど比較が困難なため、ここでは平日のみ記している。）
- ・平成27年10月～28年3月のスマイルバスBコースとやまぶきバスを合わせた利用者数は7,930人となり、昨年同期に比べて671人、9%の増加となった。
- ・また、川上村から吉野町間の利用者数は2,128人となり、昨年同期に比べて429人、25%増となった。
- ・全体として利用者が増加したこと、とりわけ川上村⇔吉野町間の利用者が増えたことは、日常生活の内容を考慮し生活に便利なダイヤを設定したこと、両町村で運行方式を調整しどちらも同じ条件で利用できるようにしたこと、休止となった奈良交通路線バスの利用者を取り込んだことなどが要因と考えられる。
- ・なお、スマイルバスBコースの利用が減少し、やまぶきバスの増加が著しいのは、利用者の最も多い便をやまぶきバスが運行していることによると考えられる。（次頁参照）

表-4 スマイルバス・やまぶきバスの利用者数（平日）

単位:人, %

	平成26年10月 ～27年3月	平成27年10月 ～28年3月	増減数	増減率
スマイルバスBコース	4,272	4,026	▲ 246	6% 減
やまぶきバス	2,987	3,904	917	31% 増
合計	7,259	7,930	671	9% 増
川上村⇔吉野町の利用	1,699	2,128	429	25% 増

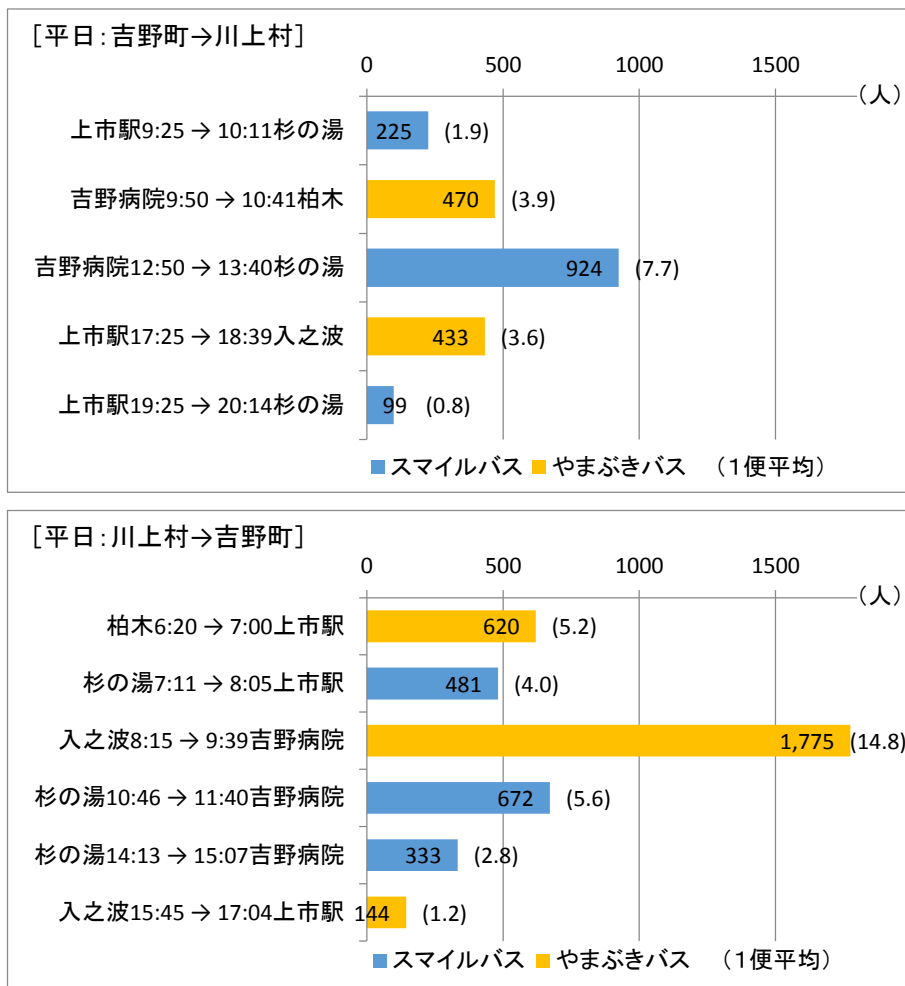
注1) スマイルバスBコースは、吉野町内だけを運行する便を含むBコース全ての便の利用者数である。やまぶきバスは、川上村内だけを運行する便を含むすべてのやまぶきバスの利用者数である。

注2) 川上村⇔吉野町の利用は、吉野病院・上市駅～湯盛温泉杉の湯・柏木・入之波間を運行する（両町村にまたがって運行する）スマイルバスとやまぶきバスの利用者数である。

② 便別の利用者数

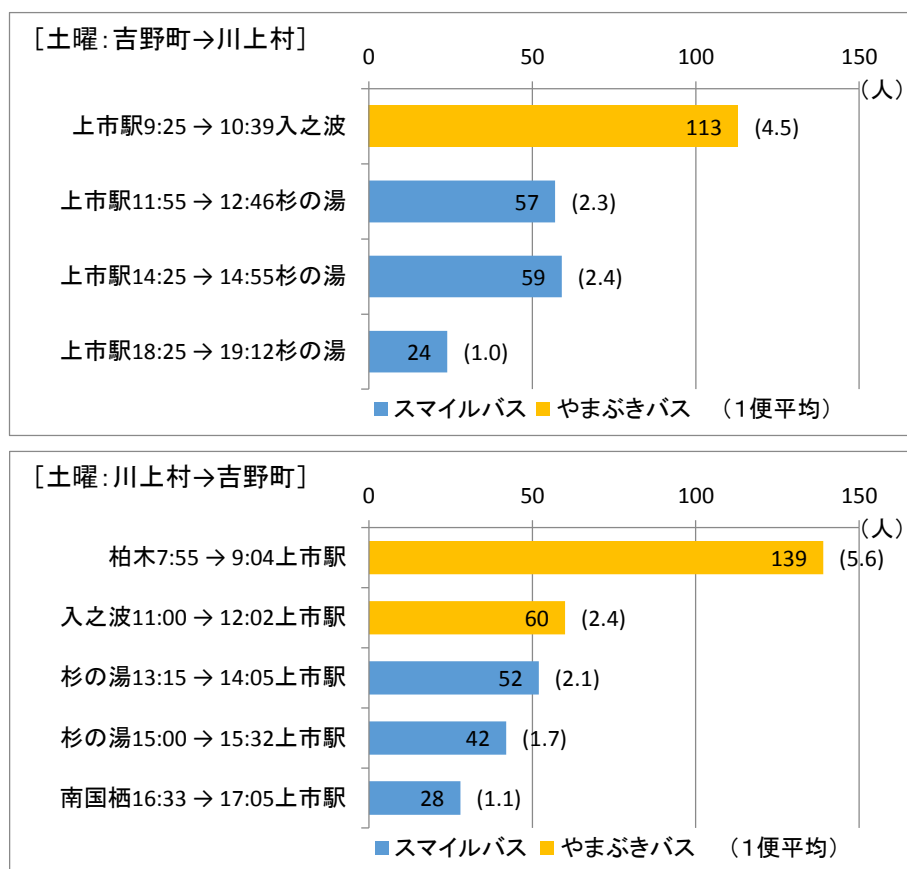
- ・ 図-5 は吉野町～川上村を結ぶスマイルバス B コースおよびやまぶきバスについて、平成 27 年 10 月～28 年 3 月の平日の便別の利用者数を図化したものである。
- ・ 吉野町から川上村へは、吉野病院 12:50 発の利用が最も多く、6 ヶ月間で 924 人、1 便平均 7.7 人の利用があった。
- ・ 川上村から吉野町へは、吉野病院 9:39 着の利用が最も多く、6 ヶ月間で 1,775 人、1 便平均 14.8 人の利用があった。
- ・ その他の便については、夕方以降を除き、おおむね 1 便平均 2～6 人の利用があった。

図-5 便別の利用者数（吉野町⇔川上村を結ぶ便、平成 27 年 10 月～28 年 3 月・平日）



- ・同様に、土曜日について示したものが図-6である。
- ・吉野町～川上村へは上市駅 9:25 発の利用が最も多く、6ヶ月間で 113 人、1 便平均 4.5 人の利用があった。
- ・川上村～吉野町へは上市駅 9:04 着の利用が最も多く、6ヶ月間で 139 人、1 便平均 5.6 人の利用があった。

図-6 便別の利用者数（吉野町⇄川上村を結ぶ便、平成 27 年 10 月～28 年 3 月・土曜日）



注：南国栖 16:33→17:05 上市駅の便は、南国栖にてやまぶきバスから接続し、川上村内から吉野町への利用者を引き継いでいるため、この図に掲載している。